



岡崎市くらしの相談担当者

原のりひこ

担当者レポートNo22

原のりひこ
公式サイト



発行日：2026年4月23日
発行所：トヨタ自動車労働組合
発行人：飯田 智士
編集人：原 紀彦
印刷所：(株)トヨタエンタプライズ

くらしの相談活動 くらしの相談トークで挙げられたお声をご紹介します！

◆ケース1（騒音）

【相談内容】

深夜から早朝にかけ、自宅周辺の事業所から発生する騒音により、生活に支障が生じているとのご相談をいただきました。



【対応】

現地確認を行い、市の関係部署と連携のうえ、県条例（騒音規制法・振動規制法）に基づき、事業者に対する行政指導を実施しました。

【結果】

騒音の抑制に向けた改善が図られ、安心して生活できる環境の確保につながりました。

◆ケース2（交通安全）

【相談内容】

視認性の低いT字交差点において、通勤車両や通学する児童生徒が多く、事故発生の危険性が高いことから、安全対策を求めるとのご相談をいただきました。



【対応】

現地確認の結果、正面への設置は困難であることが判明しましたが、左側電柱への設置が可能であったため、関係機関と調整し、カーブミラーを設置しました。

【結果】

右方向の視認性が向上し、通行時の安全確保と事故防止につながりました。

その他 議会・地域貢献・要望・研鑽等 さまざまな活動を行っています



上郷工場 連休明け前の職場巡回



令和8年 岡崎市消防出初式



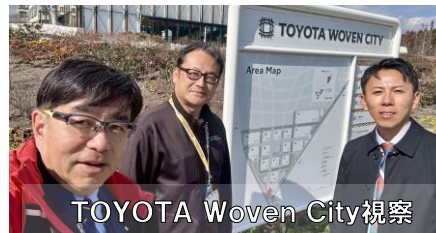
岡崎医療刑務所 視察



元町工場 あいさつ立哨



地域イベントに参加



TOYOTA Woven City視察

岡崎市議会 令和8年 3月定例会 で上程された全議案が可決成立！

予算のポイント

令和8年度当初予算は、一般会計が4年連続で過去最大となるなど、積極的な編成となりました。

一方で、扶助費などの義務的経費の増加が市税収入の伸びを上回り、自由に活用できる一般財源が減少するなど、財政の硬直化が進行しています。財政調整基金は増加しているものの、今後の持続可能な財政運営に向けては、引き続き慎重な対応が求められます。

会計名	予算額	前年対比
一般会計	1,548億5,000万円	0.8%増
特別会計	818億1,236万円	10.8%増
企業会計	680億9,040万円	3.8%増
合計	3,047億5,276万円	4.0%増

市制110周年事業

歳出の目玉は、市制110周年記念事業。主な事業で見ると、計5億円を超える予算が投入予定で、令和8年家康行列では、東海オンエアの「てつや」さんが岡崎で活躍した頃の、若き日の家康公に扮します。

また、交通安全パレードに一日警察署長として「峰岸みなみ」さんが特別出演します。総合MCは岡崎市出身のフリーアナウンサー「青木源太」さんが務められます。



※イラストはイメージです
親子が楽しめるアニメ映像、アニメソング、花火が融合したアニメ音楽フェスを軸に、岡崎の子どもたちが楽しめる催しを組み合わせ、開催する予定です。

竜美丘会館廃止へ

改修費に約30億円以上かかることを踏まえ、竜美丘会館条例の廃止議案が上程された。会館の廃止は、代替施設の利用が概ね可能であることから、持続可能な公共施設運営の観点においては、一定の合理性は認められると判断。

廃止後は協議を行い、土地・建物の活用を検討します。



太陽の城跡地へホテル誘致



同事業は、「乙川リバーフロント地区公民連携まちづくり基本計画（QURUWA戦略）」に基づくPPP活用拠点形成事業の一環。同戦略において事業用地周辺は「川と地先が一体となったリバーフロントの拠点」や「市民が都市空間を楽しむための川と暮らすコンテンツの充実」を将来像として掲げている。ホテルを誘致することで、公民連携によるまちづくりの相乗効果を発揮し、まちの活性化を促します。

期待する機能はホテル、バンケット、駐車場施設など。観光産業都市や持続可能社会の創造、健康づくりなどに寄与する施設を求める。今後は、公募に向けた募集要項を令和8年5月までに公表して公募を開始します。秋から冬には優先交渉権者の決定を行い、その後、優先交渉権者によるホテルの整備に向けた設計着手や現地調査等へと歩みを進めていく予定です。

水道基本料金減額

水道料金の基本料金100%を6か月減額！

物価高騰に直面し、日々の生活に多大な影響を受けている市民や事業者を対象に市が経済的支援策を実施するに当たり、誰もが使用する口径に依じて一律の金額を負担するもので、減額する上で一定の公平性を確保できるものと考えている。

